

2019年度に向けた新規専門研修プログラムの募集について

専門医制度委員会 担当副理事長 芳賀信彦
担当理事 浅見豊子

リハビリテーション科の新専門医制度における2019年4月からの研修プログラムを新規に募集します。以下の点に留意して提出してください。締め切りは2018年4月30日とし、締め切り後の申請は受け付けませんので、早めに準備、提出をお願い致します。申請の内容は、2018年4月1日時点の状況を記載して下さい。

なお、既存の研修プログラムの変更に関しては、別途連絡させて頂く予定です。

【新規に受け付ける研修プログラムについて】

研修プログラムは、「リハビリテーション科専門研修プログラム整備基準」に準拠する必要があります。申請されたプログラムは、日本リハビリテーション医学会での一次審査、日本専門医機構での二次審査、各都道府県協議会での検討を経た上で承認されます。一次審査に際しては、2018年度の応募状況等を勘案し以下の基準で判断いたします。

- 1) 現時点で研修プログラムが存在しない4つの県からのプログラムは歓迎します。各県内で十分に調整していただき、研修プログラムへの参加を希望する日本リハビリテーション医学会の認定研修施設を連携施設または関連施設とされるようお願いいたします。また、新規に研修プログラムに申請することで、現状の近隣都道府県の研修プログラムに変更が生じる場合には、調整の上、変更が生じる研修プログラムに変更の申請を行うようにお伝え下さい。
- 2) 日本専門医機構が指定する都市部（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県）に関しては、原則として新規の研修プログラム申請を認めない予定です。
- 3) 上記以外の道府県に関しては、人口、日本リハビリテーション医学会の会員数・専門医数、過去の専攻医数等を勘案し、さらに申請された研修プログラムの内容や規模、これまでの専門医育成実績等を検討します。また申請にあたっては、あらかじめ所属する地方会の代表幹事、同じ道府県にすでに存在する研修プログラムの統括責任者に連絡を取り、十分に調整を行って下さい。

【提出して頂く書類】※各項目にダウンロード先 URL 記載

- 1) リハ科専門研修プログラム申請書 A

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_app-training-sp01.xlsx

表紙、申請書（1, 2, 2-2, 3, 4, 5）、別紙1～5の合計12のシートより構成されるエクセルファイルです。プログラムの全容と、基幹施設について、全てのシートに記入して頂

き、ファイル名の最後の（プログラム名称）に研修プログラムの名称を記入して提出して下さい（例：リハ科専門研修プログラム申請書A（〇〇大学リハ研修プログラム）.xlsx）。

申請書 1 と別紙 2 はセルの型式が変更できないように保護されていますので、保護を決して解除しないでください。これ以外のシートについても基本的に行や列の幅を変えないようにして下さい。

別紙 2 の「施設としての研修担当分野」の欄への記入に際しては、以下に注意して下さい。基幹施設については、疾患群別のカテゴリーとして 1～8 の中で施設が担当する疾患群を記入してください（複数選択可能）。また、急性期、回復期、維持期のうち 1 つ以上も必ず記入してください。連携施設または関連施設については上記に加え、連携施設と連携施設のいずれであるのかを必ず記入してください。以上全て、数字での記入になります。

別紙 3 はプログラム統括責任者と副プログラム統括責任者の履歴書です。副プログラム統括責任者を置く場合は、このシートをコピーして、2 名分を記入してください。

別紙 5 の【参考】にある、これまでの専門医養成の実績は、基幹施設と連携施設に關しての合計数を過去 3 年分（「今年度」は平成 29 年度を示します）について必ず記入してください（1 名の専攻医が基幹施設と連携施設に勤務したような場合は、1 名とカウントします）。「当プログラムとして新規募集する専攻医の希望数（＝定員数）」は、「プログラム全体での受入上限数(A)」と「プログラム全体での受入上限数(B)」のうち小さい方の数を超えることができません。定員数は専門医養成の実績や過去の専門医養成実績を踏まえて、現実的な数として下さい。定員数は全研修プログラムが提出された時点で、日本リハビリテーション医学会と、日本専門医機構基本領域研修委員会で調整させていただきます。

2) リハ科専門研修プログラム申請書 B

連携施設用：

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_app-training-sp02.xlsx

関連施設用：

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_app-training-sp04.xlsx

連携施設用と関連施設用の 2 つがあります。関連施設がない研修プログラムでは後者を提出する必要はありません。それぞれ 4 つのシートより構成されるエクセルファイルです。連携施設と関連施設の各施設毎に、全てのシートに記入して頂きます。ファイル名の最後の（連携施設名称）（関連施設名称）に施設名を記入して提出して下さい（例：リハ科専門研修プログラム申請書 B（△△リハ病院）.xlsx）

3) リハ科一覧表

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_app-

[training-sp03.xlsx](#)

基幹施設、連携施設、関連施設、施設群全体、の4つのシートより構成されるエクセルファイルです。各施設毎にシートに記入して頂きますので、連携施設や関連施設が複数ある場合はシート自体をコピーして記入してください。

連携施設・関連施設のシート名には、施設名を追記して下さい。ファイル名の最後の(プログラム名称)に研修プログラムの名称を記入して提出して下さい(例:リハ科一覧表(〇〇大学リハ研修プログラム).xlsx)。

4) 専門研修プログラム冊子

専門医機構向けには研修プログラム本体の審査のための資料、応募者向けには研修プログラム選択のための資料となる冊子で、専攻医募集の段階では、基幹施設等のホームページでも公開されることを想定しています。モデル研修プログラムを参考に作成し、必ず募集専攻医数とプログラムに投入される教育資源の情報(症例数など)を含めて下さい。様式は自由です。PDFファイルとして提出して下さい。

*リハビリテーション科では4種類のモデルプログラム(以下参照)も示されていますので、これらも参考にして下さい。

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_program-1.pdf

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_program-2.pdf

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_program-3.pdf

http://www.jarm.or.jp/member/system/document/new_system/member_system_program-4.pdf

【提出先】

提出は必ず、下記メールアドレスに添付ファイルでお送りください。ファイルサイズが大きく添付できない場合は、「宅ふぁいる便」等を用いてお送りいただきますが、確認のため下記アドレスにその旨をお知らせください。

専門研修プログラム受付専用アドレス: program@jarm.or.jp

メール表題: 専門研修プログラム申請(基幹施設名: 〇〇病院)

メール内宛名:

日本専門医機構 専門研修プログラム研修施設評価・認定部門

リハビリテーション科領域研修委員会宛

【問い合わせ先】

研修プログラム申請に関する疑問がある場合には、学会HPに掲載のQ&Aをまずご覧ください

ださい。それで解決しない場合はご質問に応じますが、混乱を避けるためにメールまたは FAX にて下記までお問い合わせください。回答にお時間を頂く場合がありますので、ご了承ください。なお電話でのご質問には基本的にお答え致しませんので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 専門医制度委員会

新専門医制度専用アドレス：sinseido@jarm.or.jp

新専門医制度 HP：http://www.jarm.or.jp/member/system/specialist_new.html#topics

FAX：03-5280-9701